

教員:田中 健一

## 講義概要

通訳の形態や技術などの面から、歴史に至るまで、多角的に通訳という営為を捉えることを目的とする。

## 達成目標

この講義では、通訳の形態や技術などの実践面に加え、国内外における通訳の歴史や通訳の倫理規定、役割にも目を向け、通訳を多角的に捉えることを目的とする。

## 履修条件 (前に履修しておくことが望ましい科目など)

履修の条件などは特になく、学習意欲をもって参加することを期待します。

## 授業計画

1	授業計画	初回ガイダンス、自己紹介、授業内容の紹介 通訳について
2	授業計画	通訳の形態と求められる技術
3	授業計画	意味の理論と通訳の学習法・訓練法について
4	授業計画	日本における通訳の歴史1 東京裁判
5	授業計画	日本における通訳の歴史2 長崎通詞
6	授業計画	海外における通訳の歴史1 通訳者についての記録
7	授業計画	海外における通訳の歴史2 ニュルンベルク裁判
8	授業計画	通訳の倫理規定、公平性・中立性
9	授業計画	通訳の評価と通訳における専門性
10	授業計画	通訳の訳出の影響とストレスマネジメント
11	授業計画	通訳者の役割とアイデンティティ
12	授業計画	国内外における通訳者の養成と今後の展望
13	授業計画	通訳の訓練法と実践①:記憶の側面から
14	授業計画	通訳の訓練法と実践②:日本語の工夫
15	授業計画	まとめと全体の振り返り

## 授業方法

講義が中心となりますが、適宜エクササイズやディスカッションも取り入れ、参加型の授業を行います。

## 成績評価方法

試験などは行わず、出席をもって評価とします。